

ときがわ町第9期介護保険事業計画等策定委員会（第3回）議事録						
開催日時	令和6年1月25日（木） 14:00～14:55					
場 所	文化センター 2階 会議室兼小ホール					
会 長	馬場 眞美子			副会長	野口 本和	
委員 出席 状況	区分	氏 名	出欠	区分	氏 名	出欠
	1	馬場 眞美子	出	○3	坂本 牧子	出
	2	兒嶋 弘泰	出	4	村田 朝子	出
	2	野口 本和	出	4	池田 益美	出
	2	小池 達郎	出	5	藤村 孝志	出
	3	西澤 夫美子	出	5	谷 香織	出
	○3	正木 秀雄	出			
	出席委員：11人 欠席委員：0人					
事務局	福祉課長：山崎俊樹、高齢者福祉担当：村田宏美 地域包括支援センター：渡邊美佳					
コンサル	Next-i株式会社：伊東優行、山口孝紘					

※区分・・・1：知識経験者、2：保健・医療・福祉従事者、3：被保険者代表者
4：費用負担関係者、5：指定事業所代表者

※区分欄の○印・・・議事録署名委員

1. 開会

進行 山崎福祉課長

2. 会長あいさつ

馬場会長

3. 議題

規則第5条第1項に基づき、会長が議長となり、規則第6条第2項に基づき、議事録署名委員として、正木委員、坂本委員の2名を指名する

(1) 高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画（案）について

事務局より、前回の策定委員会からの修正点について、「第5章 介護サービスの充実」個々のサービスごとの見込値および「第6章 介護保険事業費用の見込み」サービス別給付費の推計については、推計を行う「見える化」システムに反映されている最新の実績まで勘案し、推計値を出した旨を説明。

続いて、資料87ページ以降について事務局から説明する。

【議長】 説明について、質疑等を問う。

【委員】 介護サービス見込量において、在宅サービスの令和5年度に比べ令和6年は急に大きく増えているが、どのような計算が行われているのか。

【事務局】 各サービスごとに実績値を基にして推計を行うが、その際に少しずつ高めの推計を行い、それが積みあがった結果。

【コンサル】 居住系サービスのグループホームが1減となることに伴い、その分を在宅サービスの訪問介護や訪問看護等に振り分け、充実させた金額となっている。

【委員】 居住系サービスの減少に比べ、在宅サービスの増加が激しい。在宅に移行すると、一人に係る金額がこれほど高くなるのか。

【事務局】 グループホームの分のみで増加したわけではなく、実績を基に推計した結果である。

【委員】 この資料は計画（案）であり、まだ決定はしていないのか。

【事務局】 現在は委員会で検討していただいている（案）の段階。今後、委員会から町へ検討結果として報告し、最終的には保険料改正について議決された後に正式な策定となる。

【委員】 訂正すべきと思われる箇所がある。

【事務局】 訂正する。

【委員】 高齢者虐待を未然に防ぐ取り組みについて、一行しか触れられていない。現在、虐待が非常に増えており、その多くが養護者による虐待である。独立した項目として追加し、町としての姿勢をしっかりと示すべきでは。

【事務局】 とても重要なことであり、追加記載を検討する。

【議長】 文章の書き方によって受け取り方も違ってくる。住民が見て納得できるよ

うな文章を作成してほしい。

(2) 今後の予定について

資料により、事務局から説明を行う。

【議長】 説明について、質疑等を問う。

質疑なし。

(3) その他

【事務局】 以前の会議で、委員より介護職の資格を取るにあたっての助成制度についてご提案があった。それを受け、次年度の当初予算計上する予定。3月議会で承認されれば、事業を開始する予定。

【委員】 町外在住でときがわ町の事業所に勤務する方は対象か。

【事務局】 予算の確保に向けて助成額は設定したが、制度の詳細については検討中。どのような形にすればより効果が発揮できるのか調整しているので、その中で煮詰めていきたい。

【委員】 参考として、他市の場合では資格を持つ住民が市外の事業所から町内の事業所に転職した場合、助成を行う制度がある。

8. 閉会

野口副会長

上記会議の顛末を記録し、その相違なきを証するため、ここに署名する。

令和 6 年 2 月 9 日

議 長 馬場 美子  印

署名委員 正 木 秀 雄  印

署名委員 坂 本 牧 子  印